

宮城いきいき便り

日ごろの学習成果披露

いきいき学園大崎校の文化祭

「未来に向けて・出会い
いきいきが！心は現役」
をテーマに、宮城いき
いき学園大崎校の文化



ステージでは、にぎやかな踊りが繰り広げられた

祭が先ごろ、大崎市古
川の大崎生涯学習セン
ター「パレットおおさ
き」で行われた。

ことしは節目となる
20回目の文化祭。開会
式では「宮城いきいき
学園の歌」を参加者全
員で斉唱した。

引き続き、学園長で
ある宮城県社会福祉協
議会の三浦俊一会長が
「これまで取り組んで

きた練習や活動の成果
の発表が、大勢の来場
者に多くの感動を与え
この文化祭をきっかけ
に地域の皆さんとの交
流が一層深まることを

期待しています」とあ
いさつした。

来賓を代表し、大崎
市の伊藤康志市長が祝
辞を述べたほか、学園
生2人が学習活動の中
で学んだ体験を発表し
た。

展示部門では、学園
生が日ごろの学習活動
や趣味などで手掛けた
書道など約200点の
作品が並んだ。来場者
からは出来栄への素晴
らしさを称賛する声が
多く聞かれた。

ステージでは、民謡
や社交ダンス、太極拳
などのクラブ発表があ
った。学園生による
学年ごとの踊りや寸劇
卒業生による民謡や踊
り、コーラスも披露さ



感謝のメッセージを披露する17期生のメンバー

れ、会場は大いに盛り
上がった。
学園の文化祭は、日
ごろの学習成果などを
総合的に発表する場
年間を通して最も力を
入れている行事であり、
県内5校ごとに順次開
催された。学園の活動
を地域の方々に広くP
Rする場にもなってい
る。

5カ所で、はつらつ開催

生きがい健康づくり地区大会



開会式で力強く選手宣誓

宮城いきいき学園の
卒業生が企画する「生
きがい健康づくり地区
大会」が先ごろ、学園
の5校がそれぞれ所在
する地区で開催された。
気仙沼・本吉地区で
は東日本大震災があっ
た一昨年は開催できず、
昨年は震災の影響も
あって気仙沼市内の小
学校の校庭で再開。
ことしもその影響は
残り、地区内での開催
が難しいことから、隣
接する一関市室根町の
「きらめきパーク」を会
場に、生きがい健康つ
くり気仙沼・本吉地区
大会実行委員会を中心

プレーを楽しみながら、選手同士の交流も深め合った



となって行われた。
ことしもグラウンド・
ゴルフ競技の大会で、
学園の在校生、卒業生

ら174人が参加。好
成績を目指し、日ごろ
の練習の成果を発揮し
ようと熱心にプレーし
ていた。
学園では、卒業生全
員を「生きがい健康つ
くり推進協力員」に委
嘱。卒業後も2年間の
学園生活で学んだ知識
や経験を生かし、地域
の高齢者のリーダーと
して継続的に活躍して
もらっている。本大会
は、その活動の一つ。
本年度は気仙沼・本
吉地区のほか、大崎
石巻、登米・栗原の各
地区でも、さまざまな
スポーツ大会を開催
仙南地区では仙台大
の支援で、基調講演や
ニュースポーツの実践
体験などがあった。